

ワンアジア講座カリキュラム

“科学技術の向上と習熟のための、アジアの価値観と文化”

期間：2017年9月～2018年2月

マカッサル国立大学（UNM）数理科学部

単位数：2 SKS (Satuan Kredit Semester)

1. テーマ：アジア共同体におけるアジア価値観

期間：2講義（1講義は100分）

成果：

学生は、社会、文化、政治、経済などいろいろな視点からアジアの価値観を理解する。講義では、また、アジア共同体形成の文脈のなかでの挑戦課題と、アジア共同体の発展に係わるべきインドネシアの役割にどう向き合うかが論じられる。

2. テーマ：異文化コミュニケーションとフィールド・トリップ

期間：2講義（1講義は100分）

成果：

講義を受けて後に、学生はアジア共同体における異文化コミュニケーションを理解する。アジア共同体における言語での、また言語以外でのコミュニケーション状況が探求され、そうした異文化コミュニケーションの理解はアジア諸国での旅行または研究をより深く経験するために用いられ得る。クラスでの集まりの後、学生は、自分たちをとりまく地元の叡智を探るためにフィールド・トリップにでかけ、そこで見出す智慧を分析・報告し、こうした智慧がとくにアジア諸国に広められるべきだと考える場合にはそのことについてグループ・ディスカッションを行う。

3. 言語教育を通じてのアジア共同体の形成

期間：2講義（1講義は100分）

成果：

講義後に、学生は言語教育の重要性を理解する。言語能力を高めることは、違う国々の国民を理解するためにきわめて重要である。アジア諸国はそれぞれに非常に違った言葉を話す人々で成り立っている。学生はこのことを念頭に置いてより良い未来を開くべきである。

4. 学生の移動性を高めるうえでの言語の役割

期間：2講義（1講義は100分）

成果：

学生は、世界、とくにアジア諸国での学生の移動性を高め得る言語の役割を理解する。学生は、それぞれの個人としての資質を高めるために自我の修練に努めるべきであり、言語能力の発展はそのための方法の一つである。

5. アジア諸国における学生の移動性

期間：2講義（1講義は100分）

成果：

学生はアジア諸国で学生がどのように移動しているかを理解する。講義はまた、学生がそれぞれの移動性を高める方法についても探る。奨学金、インターンシップ、学生交換、ユースキャンプなどの方法も論じられる。アジア諸国の教育制度の特徴も説明される。

6. アジア諸国における科学の役割

期間：2講義（1講義は100分）

成果：

講義後に、学生は、アジア、とくにインドネシアにおける科学の発達についてより深く理解する。講義は、国の未来の糧とするため、またアジアの諸国の結びつきを深めるために、科学の可能性をどのように極大化するかにも焦点を当てる。

7. 経済成長を促進する投資としての研究

期間：2講義（1講義は100分）

成果：

学生は、アジアの先進諸国がどのように研究を通じて経済面で世界をリードするようになったかを理解する。講義は、いかに研究が国の経済成長の諸要素の一つとなり得るかを明らかにする。インドネシアの研究能力の改善と増進のために、インドネシアの事例が論じられて、その欠陥と機会について理解が深められる。

8. ICT（情報通信技術）を用いたリソース・シェアリング

期間：2講義（1講義は100分）

成果：

学生は文書資料、図書館、ソフトウェアなど様々なリソースを共有するために使う事のできるICTの諸ツールについて理解する。講義はまた、ICT発展のための人口学的、地理的、経済的、社会的潜在能力に係わる欠陥と利点を探求する。

※講義日程および内容は講師の都合等により変更になることがあります。